

CALLERLAB メインストリーム、動作の定義改定

このたび CALLERLAB より、「メインストリーム ダンス プログラム動作の定義」書き換え作業の結果の一部が発表されましたのでご案内します。(2019年3月9日付け改定発表)

CALLERLAB では、定義の書き換え作業を、動作表記の分かりやすさ、標準化に努め行っており、各動作の記述を、1.動作名、2.動作を始める隊形、3.コール例、4.動作、5.動作を終わる隊形、6.タイミング、7.スタイリング、8.注釈の 8 つの形に整理し、2008 年から順次発表しています。

今回の発表は、「メインストリーム ダンス プログラム動作の定義」の 15.Dixie Style to an Ocean Wave (ディキシー スタイル トゥ アン オーシャン ウェイブ) です。

変更点は、次の通りです。

15.Dixie Style to an Ocean Wave

(ディキシー スタイル トゥ アン オーシャン ウェイブ)

■動作が次のように書き換えられました(要約)。

改定前：

向かい合っているカプルからの場合、右側の方が左斜め前に前進しリーダーとなり、右手を引っ張って通り過ぎ、トレーラーと左手のミニウェイブを作り、1/4 (90度) 回転する。

改定後：

向かい合っているカプルからの場合、ハーフサッシュェイの半分を行い、センターは右手を引っ張って通り過ぎ、全員でレフトタッチワンクォーターを行う。

また、コメントとして、以下の内容が追加されました(要約)。

※このコールには、オーシャンウェイブルールが適用される。
(シングル 1/4 タグ隊形から)

※ダブルパススルー隊形から、単純に Dixie Style to an Ocean Wave とコールをするのは、あいまいさがあるので混乱を招きやすい、コーラーは、Center 4, Dixie Style to a Wave や、On a Double Track Dixie Style to a Wave、(または“Single File”もしくは“Each Column 4”) 等と、補助語を用いて明確にすべきだ。

※普通のスクエアセットから、“All 4 Ladies Lead, Dixie Style to a Wave” は

拡張された使い方（エクステンデッド アプリケーション）である。
コーラーはこの使い方には、ワークショップをすべきである。

【技術委員会・SD小委員会追記】

シングル 1/4 タッグ隊形からのオーシャンウェイブルールが適用される例として、スクエアセットから、Heads Pass The Ocean, Dixie Style to an Ocean Wave や、Line 又は Wave から、1/4Tag, Dixie Style to an Ocean Wave 等があげられます。（センターのミニウェイブの人が右手プルバイから開始）

但し、このような使い方は、今までにない使い方、ダンサーにとって難しい動きと思われる。

使用する場合、コーラーは十分な注意を払い、事前にワークショップを行っていただくことを
推奨致します。

詳しくは、S協ホームページ、または、CALLERLAB ホームページでご確認ください。

S協ホームページ：スクエアダンストピックス欄

URL： http://www.squaredance.or.jp/sd_topic.html

CALLERLAB ホームページ：Dance Program Documents 欄

URL： <http://www.callerlab.org/Dance-Programs>

以上

<技術委員会・SD小委員会>